



3期目に意欲を示した松田会頭

松田会頭 3期目へ意欲

岡山会議所
定例会見 「積み残しがある」

岡山商工会議所(岡山市北区厚生町)の松田久会頭は28日、10月末で任期満了となる会頭職について、「まだ積み残しことがある。岡山の経済界を力強くするため、統投したい」と3期目への意欲を示した。同会議所で開いた定例会見で明らかにした。

新型コロナウイルス禍に見舞われた2期目を振り返り、多くの中小企業の資金繰りなどを支援したとして「お手伝いできたと自負している」と強調。その上で「できれば、コロナ禍を抜

けた正常な状態で『稼げる地域づくり』をしたい」と述べた。

重点的に取り組む「積み残し」については、バレーボールトップチームなどの拠点として岡山市に要望しているアリーナ整備、同市東区西大寺地区の活性化の2点を挙げた。「すでに動き始めている事業。再び会頭になれば、実現に向けて力を尽くす」と話した。

松田会頭は、任期中途中で退任した岡崎彬前会頭の後を受けて2019年4月に就任。同11月に再任され

た。同会議所は今年11月1日の議員総会で会頭、副会頭らを選出する。

会見ではコロナの流行「第7波」の急拡大にも言及。感染防止に注意を払う

必要性に触れながら「人々の消費意欲は高く、景気は上向いている。この流れを止める行動制限は得策ではない」と語った。

(小川正貴)